月刊みんぱく 2014 12月号

編集後記

庭の片隅の砂場で泥だんごを一心に作っている、という場面が自分が遊んでいるもっとも古い記憶かもしれない。水の量を微妙に調整し、試行錯誤を重ね、崩れない完ぺきな球体に丸め、最後に乾いた砂を表面にまぶしてできあがった作品に満足し、ふーっとため息をついて見上げると、そこにアジサイの手まり咲き。これが世にいう原体験なのだろう。少し四肢が発達したころにはお気に入りの木に登り、空や風景を眺める時間に充足感をおぼえていたように思う。買ってもらったおもちゃでもっとも使用時間が長かったのは、レゴと着せ替え人形。

20年後、30年後、自分の孫はいったいどんなおもちゃで遊ぶのだろうか。子どもたちは、ますますリアルになったロボットや、仮想現実を巧みに操る遊びに興じるのかもしれない。しかし、一方で世界中の化石燃料はあと数十年で尽きるというので、それに代わる安全なエネルギー源が確保されない限り、電力がないと製造できない、あるいは作動しないおもちゃは大幅に減少する可能性もある。発電ユニット付きのエコおもちゃ開発の動きはすでにあるらしい。

（山中由里子）

●表紙：タコノキの葉で作られたボール
地域：マーシャル諸島、マジュロ環礁　標本番号 H0004556
ウマのおもちゃ
地域：メキシコ　民族：ウィチョル　標本番号 H0154767

次号の予告

特集
ひつじ

※みんぱくウィークエンド・サロンの情報は、13ページに移りました。

みんぱくをもっと楽しみたい人のために──会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます（特別展示は観覧料割引）。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

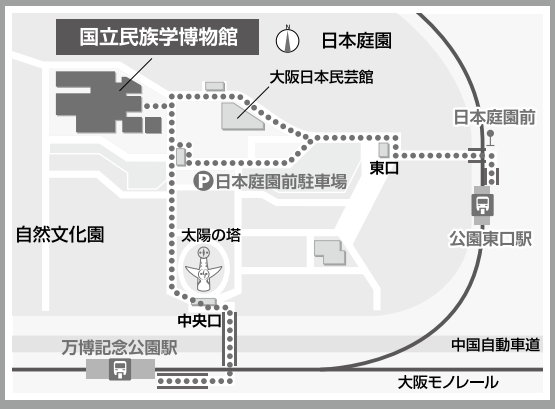
詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
（電話06−6877−8893／平日9：00～17：00）

月刊みんぱく 2014年12月号
第38巻第12号通巻第447号　2014年12月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　池谷和信
編集委員　山中由里子（編集長）　樫永真佐夫　河合洋尚　庄司博史　菅瀬晶子　丹羽典生　丸川雄三
編集アドバイザー　山内直樹
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　能登印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
●阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック
http://www.facebook.com/MINPAKU.official/
みんぱくツイッター
http://twitter.com/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology